



Facebook 配信中！
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第 78 号

令和7年5月15日発行
(2025年)

2月定例会号

かけはし



令和7年度当初予算成立！・・・・・・・・・・	2
9議員が市長に問う！（一般質問）・・・・・・・・	9
視察研修報告！（議会運営委員会）・・・・・・・・	18

相良中学校 地域の方と中学生とで花を植えよう！

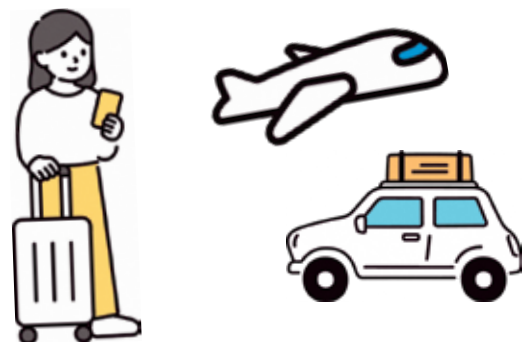
市公式ホームページの
適正な管理を行います！
ホームページ運用保守業務委託料
226万2000円



問 ホームページ運用保守業務委託料の積み上げはどうなっているか

答 システムの運用保守に関する費用やウイルス対策費用などで月々19万円ほどなので、年間で226万2000円となる。

市内の観光振興や経済活性化のため
誘客キャンペーンを実施します！
RIDE ON MAKINOHARA
誘客キャンペーン業務委託料1500万円



問 観光誘客推進事業は一度廃止になったはずだが、再度実施することとなった経緯は。また事業内容は

答 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金により財源が確保できたため、実施する運びとなった。事業内容は令和5年度とはほぼ同様で、市内宿泊者に対して1泊につき1人3000円の商品券の助成を行うもの。

公営住宅の適正な
維持管理を行います！
市営住宅管理業務委託料 2636万2000円



市内にある市営住宅

問 市営住宅の管理は静岡県住宅供給公社への業務委託が決まっているとのことだが、滞納整理も含まれるのか

答 滞納整理の業務委託をする場合は別で約1000万円程度の委託料がかかる。現在の市営住宅における市営料滞納額は約140万円のため、費用対効果の面から外すこととした。

地域の絆づくり事業に対し
補助を行っています！
地区における絆づくり事業補助金 300万円



相良地区で開催された地域で楽しむフェスティバル

問 各地区における絆づくり事業に対する補助金の振り分けはどのようなになっているか

答 市内各小学校区10地区に対してそれぞれ補助を行っており、各地区への補助額は最大30万円としている。

令和7年度 各会計予算を可決 過去最大の予算規模!各事業を審議!

	一般会計	247億5000万円
	国民健康保険特別会計	50億2476万8000円
	後期高齢者医療特別会計	7億2917万3000円
	介護保険特別会計	44億6502万円
	土地取得特別会計	3547万2000円
	農業集落排水事業特別会計	598万2000円

		収入	支出
	水道事業会計	10億323万2000円	10億25万9000円
		8277万6000円	3億6608万3000円

～各事業に対する主な審査内容～

(審査内容の全文は会議録をご覧ください。)

体育館への空調設備導入へ
向けた調査を行います！

社会体育施設維持補修費 7441万円5000円



相良B&G
海洋センター

問 体育館への空調設備導入の検討については学校等の体育館も含まれているか

答 まずは市内社会体育施設であるB&G海洋センター、静波体育館、片浜体育館について導入の検討をする。学校の体育館については並行して検討していく。

こども食堂を実施する団体に
支援を行います！

こども食堂実施事業費補助金 132万円



問 新規の運営団体が増えた場合、予算は不足しないか

答 当初予算は本市の財政規模にあわせて算定している。運営団体が増えることは市として大変喜ばしい事であるため、申請が増えた場合には補正予算で対応できるように、予算の要求をしていく。

集中と選択により、 財政を健全に運営します！

一般会計予算 全体

自主財源を確保し、市民サービスの 維持・向上に努めます！

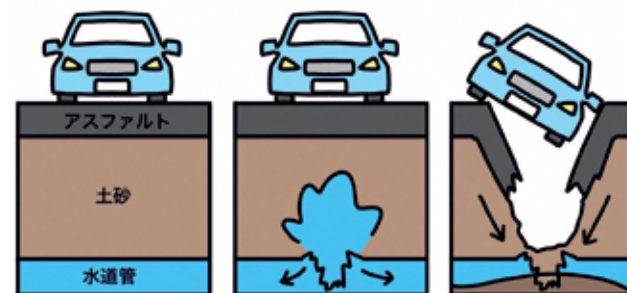
臨時財政対策債(歳入) 廃止

水道管の適正な管理に努めます！

水道事業会計全体

オーガニックまきのはらを 推進します！

オーガニックまきのはら
推進事業費 707万1000円



問 埼玉県八潮市で下水道管の破損および道路が陥没する事故があったが、当市でも同様の事故が起ることが考えられるか

答 国の補助金を使い、AIによる水道管の劣化診断を実施した。劣化箇所は新しい水道管にもあるため、常時点検および修繕を行い、丁寧に管理していく。



レモン部会は当市だけでなく近隣とも連携

問 事業の財源としている県の補助金「ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業」は、菊川市と連携した補助金だと思いが、具体的な連携の取り組みは

答 レモン部会や早生樹・バイオ炭部会は当市だけの取り組みでなく菊川市とも連携して行っており、また業務用カテキンの販売についても連携を行っている。

令和7年度牧之原市一般会計予算に対する附帯決議

令和7年度牧之原市一般会計予算については、人口減少や少子高齢化などの喫緊の課題に対応するため、第3次総合計画における5つの重点戦略・プロジェクトを積極的に推進するための様々な事業の執行が計画されており、247億5,000万円という過去最大の予算規模となっている。

牧之原消防署榛原出張所整備事業、GIGAスクール構想事業に係る学習用端末更新事業、大井川広域水道と榛南水道の経営統合に係る出資金などの大型事業が令和7年度に集中していることも要因の一つではあるが、新火葬場整備事業、義務教育学校建設事業などの今後も引き続き多額の費用を必要とする事業も控えている状況である。

令和7年度に限らず、本市の一般会計予算については財政調整基金を取り崩しながらの予算編成となっており、今後も厳しい財政運営が求められることとなる。

以上のことから、令和7年度牧之原市一般会計予算の執行に当たっては、下記事項について十分配慮して取り組むことを求める。

記

- 1 財政調整基金は、不測の事態や年度間の財源不足に備え積み立てるものであることから、一定額を確保しておくことは今後の市政運営にとって重要なことである。よって、適正な財政執行に努め、財政調整基金の取り崩し額を必要最低限とすること。
- 2 今後も大型事業を控えている中ではあるが、物価高騰などの影響により、現在見込んでいる経費から増額となることが予想される。将来に負担を残さないためにも、各事業を実施する際にはより慎重に検討するとともに、必要な財源の確保に積極的に取り組むこと。

討 論

令和7年度
牧之原市一般会計
予算

(大石議員)

反対

公共施設の総量規制が明確ではなく、公共施設の削減が進行している。施設を削減する一方で、新たな施設整備が行われ、計画もされていく。矛盾であり整合性がない。義務教育学校や火葬場の建設など公共事業費支出が大きくなり、財政調整基金の取り崩しや市債借入、公債費の推移をみると、今後の財政運営に懸念が高まる。

(絹村議員)

賛成

人口減少や少子高齢化などの課題に対応すべき5つの重点プロジェクトを推進していくという積極的姿勢が反映された予算である。子どもたちが健やかに成長できる環境の構築や市民の安全・安心を図る事業、関係交流人口の拡大、カーボンニュートラル実現への取り組みなど、本市がさらに発展するための予算配分となっている。



環境保全センター↓

↑さんあーる

問 当市でも人口減少が進む中、廃棄物処理における1市2制度の課題や展望は

答 現在、牧之原市御前崎市広域施設組合で勉強会を実施し、焼却施設の課題等を報告書にまとめている。その内容を組合議会および吉田町へも報告。共有し、廃棄物処理施設の将来について提案していきたい。



松くい虫による松枯れ

問 松くい虫による全体の被害率は。また、この事業にかかる県の計画等はあるか

答 正確な被害率は把握していないが松枯れが急速に増加しており、今までにないような状況だと言える。県では860本の伐倒を実施すると聞いているが、被害次第では今後とも都度伐倒が必要になると考える。

議案への主な質疑

牧之原市地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

地域包括支援センターに従事する職員の人材不足に対応した職員配置基準の緩和規定を設けるため、所要の改正を行うもの。

現状への影響は

当該条例改正により、現状にどのような影響があるか

現在の地域包括支援センターの運営については、委託法人の職員により3職種の配置は確保されており、現状に影響はないものと考えている。今回の条例改正に伴い、今後はより柔軟な対応が可能になると考えている。

牧之原市道の駅そらっと牧之原維持基金条例の制定について

道の駅そらっと牧之原について、売上金の一部を積み立て、今後の維持管理、修繕等に要する経費に充てるための基金の条例を制定するもの。

どのような想定なのか

第2条の積立ての額及び第5条の繰替運用は何を想定しているのか

第2条は、指定管理候補者から自主事業を除く収益施設の売上げの3%を毎年、市へ納付する提案があり、納入計画に基づき規定をした。第5条は、市の財政における歳計現金が不足する場合に繰替運用をするもの。

指定管理者の指定について

(道の駅そらっと牧之原)

道の駅そらっと牧之原の管理運営に関し、市指定管理者選定委員会により審査及び選定した事業者を指定管理者として指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

自主事業とは

指定管理者の自主事業とは何か。施設利用許可者の利用料金は、指定管理者の売上げに含むのか

自主事業は指定管理者が企画立案してやる事業。施設利用は市が料金を徴収するところ、指定管理者に代行させることから売上に含む。



7月にオープン予定のそらっと(令和7年4月現在の現地写真)

市政に対する

総括的な質疑

職員の年度途中での退職の要因は

職員の年度途中での早期退職が続く、組織のあり方に何らかの要因があると感じているが、市長はどのように考えているのか

継続して勤めていただきたいが、職員の皆さんが次のステップに向かって自分の人生設計の中で選択されたことなので、個人の意見を尊重する。

地域住民への塩害被害は

地頭方港海岸防潮堤の嵩上げについて、工事の矢板に風が当たり、地域住民が塩害を受けていることへの市の見解と、防潮堤進捗状況に関する地元への説明についての考えは

塩害については土のうを積みなどの対応をしたが、年月も経過したため新たな対応を考えている。地元への説明については、県と調整しながら一度開催したいと考えている。

2月定例会 補正予算の審査

○今回の補正予算の主な内容

- ・御前崎市牧之原市学校組合給食業務委託における御前崎市への不足額支出に伴う経費
- ・低所得者支援として実施される給付金に伴う経費
- ・特別支援学級の増設に伴う経費
- ・各事業の決算見込みによる減額

今後の取り組み方は

オーガニックまきのほら

推進事業費

オーガニック推進補助金

172万円減額

事業量が減ったため減額と

のことだが、来年度以降は

どのように取り組んでいくのか

もつと関心を高められるよう、より一層周知に取り組んでいく。茶に関しては抹茶、有機など、また海外輸出に向けても取り組んでいく。

関係市との調整は万全か

新火葬場整備事業費

1778万5000円減額

多額の減額補正となっている

が、関係市と事業にかか

る調整が確実にできていたのか

昨年4月に関係市である御

前崎市議会の改選があり、

新議員への説明に時間を要した。これにより令和6年度内の予算執行が出来なくなったため減額の補正を行い、令和7年度当初予算に計上する運びとなった。

減額の理由は

塵芥処理費

2246万円減額

物価や輸送費が高騰する中、

減額した理由は

ごみ袋に関する入札差金、公用車購入やホイールローダー等の契約差金などにより減額となった。また電気料に補助が加わったことも要因となっている。

意見書

内閣総理大臣らに提出しました。

意見書全文はこちらから



「公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書」要旨

全国的に教員不足が課題となる中、優秀な人材確保のためにも教員の働き方改革を進め、教員の仕事に魅力を感じてもらうことが必要であるため、下記事項に取り組むよう強く要望する。

- 1 校務のDXによる業務効率化や業務内容の見直しを進めるなど、さらなる働き方改革の推進を強力に支援すること。
- 2 教職調整額については令和8年から12年にかけて段階的に10%へ増額することが閣議決定されているが、確実に、かつ可能な限り速やかに引き上げるとともに、あわせて時間外勤務を抑制するための法整備を進めること。

～議決結果と概要～

・2月定例会(全会一致のもの)

件名		結果	概要
人事案件	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	人権擁護委員に「尾崎寿光」氏を選任するもの。
条例廃止	牧之原市予約型乗合バスの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	可決	デマンド乗合バスまきのほら号を市直営の運行から交通事業者への運行委託に切り替えたため、本条例を廃止するもの。
条例改正	牧之原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正により、子を養育するため時間外勤務を制限する職員について、該当子の年齢を3歳未満から小学校就学の始期に引き上げる改正を行うもの。
	牧之原市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	育児休業、介護休業等育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正により、会計年度任用職員における部分休業の承認について改正を行うもの。
	牧之原市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	令和6年人事院の給与動向に準じ、最低水準の引上げによる給料表の改定、扶養手当などについて所要の改正を行うもの。
	牧之原市技能労働職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和6年度人事院の給与動向に準じ、地域手当の支給について所要の改正を行うもの。
	牧之原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和6年人事院の給与動向に準じ、地域手当の支給相当分が支給できるよう所要の改正を行うもの。
	牧之原市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例。	可決	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い、引用部分の一部改正を行うとともに、健康保険証の廃止に伴い、庁内連携で健康保険証の記載情報を確認する必要がある事務を拡大するため、所要の改正を行うもの。また、情報連携する事務及び特定個人情報情報を明確にするため、条例施行規則を制定することから、所要の改正を行うもの。
	牧之原市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の改正により、消防団員等公務災害補償等共済基金または指定法人が市町村に支払う消防団員退職報償金の勤務年数区分について、新たに区分が追加されたため、所要の改正を行うもの。

市政を問う!! 一般質問

お茶を取り巻く環境は、市場価格の低迷やリーフ茶の需要減少、他県の躍進により危機的な状況となっている。2025年以降の茶の生産に関し、煎茶から抹茶の原料となるてん茶への転換へ見直す方針が国から示された。しかしながら、てん茶、有機栽培に転換を図っても農家にとって、すぐに収益が見込まれるのか等の課題がある。生産者が安心して後継者に継いでもらえる状況を作り出すことが重要である。

なかのやすこ
中野 康子

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



次世代に引き継ぐ茶業の展開



バイオ炭をすき込んだ茶畑

問 てん茶、有機茶への支援策について
答 健康志向による日本食への関心の高まりを背景に、緑茶の輸出が伸びている。本市では有機JAS認定取得や農薬検査、有機農業を推進するため土づくりへの補助金支援を実施している。また、国の新規支援事業に基づく、茶工場建設や機械導入への支援や、輸出を見据えた茶改植支援（14万1000円／a）を県が実施すると聞いているため、市でも情報収集をしていく。

問 基盤整備において、適切に茶園管理ができるゾーニングを行っていくとのことだが、耕作者とどのような協議をしていくのか
答 基盤整備組合では、担い手と茶の品種や栽培方法、将来の営農方法等の協議を行い、適切な茶園管理ができるようにしていく。

問 環境面、健康面に配慮したお茶は、今後の販売の大きな力になると考える。カーボンクレジットが発生するバイオ炭を活用したお茶づくりの予定は
答 バイオ炭を活用したカーボンクレジットの創出の取り組みは、「オーガニックまきのはらプロジェクト」の名称で認証された。今後バイオ炭を茶園にすき込む手続きを広めていきたい。



畑にすき込む前のバイオ炭

問 荒廃農地に取り残されている防霜ファンの今後の活用法について
答 防霜ファンの部品を修理に活用する事例や、再利用できないモーターや羽根はリサイクル金属としての売却も考えられる。農地の適正な管理のため、放置されている防霜ファンについて関係機関と協力し農業者へ助言・指導を行っていく。

件 名		結果	概 要
条例改正	牧之原市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	かんたん窓口システム証明書交付サービス導入に伴い、マイナンバーカードを利用して、市役所内に設置した機器からコンビニ交付と同様の操作を行うことで、印鑑登録証明書の交付を可能とするための改正を行うもの。
	牧之原市税条例の一部を改正する条例	可決	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正に伴い、当該法律を引用している箇所に条ずれが生じたため、所要の改正を行うもの。
	牧之原市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	栄養士法の改正により、栄養士免許を取得せずとも管理栄養士国家試験の受験が可能になることを受け、令和6年11月29日付けで児童福祉施設等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が公布されたことに伴い、本条例についても所要の改正を行うもの。
	牧之原市地域包括支援センターの職員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、地域包括支援センターに従事する職員の人材不足に対応した職員配置基準の緩和規定を設けるため、所要の改正を行うもの。
	牧之原市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、地域包括支援センターに従事する職員の人材不足に対応した職員配置基準の緩和規定を設けるため、所要の改正を行うもの。	可決	介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の公布に伴い、当該法律を引用している箇所に条ずれが生じたため、所要の改正を行うもの。
	牧之原市道の駅そらっと牧之原維持基金条例の制定について	可決	道の駅そらっと牧之原について、売上金の一部を積み立て、今後の維持管理、修繕等に要する経費に充てるための基金の条例を制定するもの。
	牧之原市さがら子生れ温泉会館条例の一部を改正する条例	可決	近年の物価高騰および人件費高騰に伴い、入館料を値上げしなければならない事態に備え、入館料の上限について改正を行うもの。
	牧之原市相良総合センター条例の一部を改正する条例	可決	相良総合センターの旧子育て支援センターの廃止に伴い、リハーサル室として一般利用者への貸し出しを行うため、使用料等について所要の改正を行うもの。また、新たに増加した付帯施設の利用料金についても所要の改正を行うもの。
	牧之原市立小中学校体育館等使用条例の一部を改正する条例	可決	市内小中学校体育館等の使用料の改定等に伴い、所要の改正を行うもの。
	牧之原市社会体育施設条例の一部を改正する条例	可決	地頭方体育館、仁田体育館、仁田アーチェリー場の廃止及び使用料の改定等に伴い、所要の改正を行うもの。
補正予算	令和6年度牧之原市一般会計補正予算（第9号） ※1	可決	2億9,074万4,000円を減額し、予算額を233億6,234万4,000円とするもの。
	令和6年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ※1	可決	1億1,994万5,000円を増額し、予算額を51億7,124万8,000円とするもの。
	令和6年度牧之原市後期高齢者医療特別会計予算（第1号） ※1	可決	2,963万8,000円を増額し、予算額を7億1,079万3,000円とするもの。
	令和6年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第3号） ※1	可決	9,961万3,000円を減額し、予算額を44億2,437万3,000円とするもの。
当初予算	令和7年度牧之原市国民健康保険特別会計予算	可決	令和7年度牧之原市国民健康保険特別会計予算を50億2,476万8,000円とするもの。
	令和7年度牧之原市後期高齢者医療特別会計予算	可決	令和7年度牧之原市後期高齢者医療特別会計予算を7億2,917万3,000円とするもの。
	令和7年度牧之原市介護保険特別会計予算	可決	令和7年度牧之原市介護保険特別会計予算を44億6,502万円とするもの。
	令和7年度牧之原市土地取得特別会計予算	可決	令和7年度牧之原市土地取得特別会計予算を3,547万2,000円とするもの。
	令和7年度牧之原市農業集落排水事業特別会計予算	可決	令和7年度牧之原市農業集落排水事業特別会計予算を508万2,000円とするもの。
	令和7年度牧之原市水道事業会計予算	可決	収益的収入を10億3,23万2,000円、支出を10億25万9,000円。資本的収入を8,277万6,000円、支出3億6,608万円とするもの。
変更約	静岡県市町総合事務組合規約の一部変更について	可決	静岡県市町総合事務組合を構成する地方公共団体である西豆衛生プラント組合が令和7年4月1日から名称を西豆広域行政組合に変更することに伴い、規約の変更を行うもの。
その他	財産の取得について	可決	静岡市消防局牧之原消防署棟原出張所として不動産を取得するため、牧之原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。
	指定管理者の指定について（道の駅そらっと牧之原）	可決	道の駅そらっと牧之原の管理運営に関し、市指定管理者選定委員会により審査および選定した事業者を指定管理者として指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。
	市道路線の廃止について	可決	1路線の市道廃止を行うもの。
	市道路線の認定について	可決	2路線の市道認定を行うもの。
契約変更	「道の駅(仮)さかべ」地域振興施設新築工事請負契約の一部変更について	可決	工事内容に変更が生じ、契約金額を変更するため、牧之原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。
	「道の駅(仮)さかべ」休憩施設新築工事請負契約の一部変更について	可決	工事内容に変更が生じ、契約金額を変更するため、牧之原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。
	牧之原市相良総合グラウンド人工芝整備工事請負契約の一部変更について	可決	工事内容に変更が生じ、契約金額を変更するため、牧之原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき議会の議決を求めるもの。
条例改正	牧之原市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部を改正する条例	可決	令和6年人事院の給与動向に基づき、地域手当の支給と管理職員特別勤務手当の支給対象時間の拡大、再任用職員への住居手当支給について所要の改正を行うもの。
	牧之原市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正により、非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額および扶養に係る補償基礎額の加算額が改正されたため、所要の改正を行うもの。
その他	財産の無償譲渡について	可決	地頭方幼稚園の庭園に伴い、令和7年度に解体する予定であったが、建物を解体することなく施設を市の農業政策に合致している事業に利活用してもらうことが地域の活性化や市の歳入の縮減にも寄与することから、地頭方幼稚園の土地および建物の無償譲渡するもの。
発議議員	牧之原市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正され、同法第2条に新たに第8項が新設されたことにより、引用している項番号にずれが生じるため、その改正を行うとともに、所要の規定の整備を行うもの。

※絹村議員は3月12日の本会議を欠席しており、※1の議案の表決には加わっていません。なお、欠席にあたっては、欠席届が提出され、受理されています。

・2月定例会（賛否が分かれたもの）

○：賛成 ●：反対 ※議長（村田）は採決に加わりません		結果	石山	谷口	絹村	名波	加藤	木村	松下	種茂	濱崎	植田	太田	中野	大石	原口	村田	概 要
当初予算	令和7年度牧之原市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	令和7年度牧之原市一般会計予算を247億5,000万円とするもの。
議員発議	公立の義務教育諸学校の適正な教員数の維持・確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—	教員の人材確保は喫緊の課題であり、今後の教育界を支える志ある優れた人材を確保していく必要がある。そのためには教員の働き方改革等を進め、子供たちが教員の仕事に魅力を感じるようにする必要があることから国へ公立の義務教育諸学校の適正教員数を維持・確保していくため、事項に取り組むよう要望するもの。
	議案第30号 令和7年度牧之原市一般会計予算に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	一般会計予算については財政調整基金を取り崩しながら予算編成となっており、今後も厳しい財政運営が求められることから、令和7年度牧之原市一般会計予算の執行に当たっては、十分配慮して取り組むことを求めるもの。

一般質問

牧之原市では、人口減少や財政制約の中で公共施設の維持管理が課題となっている。計画では、施設の統廃合や長寿命化を進める方針だが、進捗状況や住民への説明、財政負担の軽減策についてさらなる議論が必要だと考える。また、庁舎の在り方については、合併20周年を迎えた今、行政の効率化や市の一体性を踏まえた検討が求められる。さらに、学校跡地の活用や市営住宅の老朽化対応についても、地域の意向や財政とのバランスが課題であり、公共施設を「収益を生む資産」として活用する視点も重要である。

たにぐち しげよ
谷口 恵世

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



未来志向の公共施設マネジメント

問 市の一体感向上や行政の効率化のため、維持管理費削減や市民サービス向上の観点から、1市1庁舎とすべきではないか

答 牧之原市の庁舎については、合併時の協定で相良・榛原庁舎を同格とし、現状維持を基本方針としている。平成27年の公共施設マネジメント計画では「既存施設を賢く使い、部分的に統合する」との答申を受け、福祉部門の集約など効率化を進めてきた。庁舎維持管理には年間約1.2億円かかり、大規模改修にかかる費用も必要となる。財政負担を考慮しつつ、移動費削減や電子申請の導入など市民サービス向上を図っている。今後も柔軟に対応しながら、庁舎の在り方を検討していく。

問 市営住宅・市営団地の今後の方針について

答 管理戸数を削減しながら、住宅施策と福祉施策の連携を検討中である。市営住宅はこれまで16棟34戸を除却し、津波避難タワーや福祉施設、市営保育園用地として活用している。住宅地跡地は民間への払い下げを検討し、地域維持と定住促進を考慮した適切な利活用を進めていく。



公共施設マネジメント
個別施設計画

問 学校跡地の利活用と公共施設の資産運用方針について

答 学校跡地の利活用については、住む魅力を高め、地域の活性化や定住促進につながる方針である。資産運用の観点も重要であり、市場規模を見極めながら適切に活用を検討する。現在は特命事項として対応しているが、令和8年度には専門部署を設置し、企業との連携や新たな仕組みを取り入れながら、公共施設マネジメントの強化を進めていく。



学校跡地利活用の
検討状況について

問 現在配布されている学習用端末機における更新時期の対応は

答 情報の消去については、個人情報保護の観点から極めて重要であると考えている。専門の処分業者に委託し、適切に処理する方針であり、令和8年度の当初予算で処分費の計上を予定している。

まつした さだひろ
松下 定弘

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



子どもの情報端末機の使用



問 昨年まきチャレで準大賞を受賞した株式会社4Kizが「子どものためのSNS 4Kiz」という子ども向けSNSアプリサービスの取り組みを発表している。これに対する市の見解は

答 「コードマモ」とともに優れたアプリであると考えている。

問 「コードマモ」や「4Kiz」アプリを保護者に周知してはどうか

答 保護者の学習の場である「家庭教育学級」での紹介や、各校の授業参観・学級懇談会での紹介など、各校での情報提供を検討していく。

問 児童生徒を対象としたSNSの使い方に関する講座はどのくらい開催されているか

答 令和6年度についてはほとんどの小中学校で実施され、その多くは小学校では高学年、中学校では全年を対象に行われた。



一般質問

当市では「市民一人ひとりと地域が創る幸せあふれるまち」を基本理念とした「第4次牧之原市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を令和6年度から5年間を計画期間として策定している。地域共生社会の実現こそ少子高齢・人口減少社会への備えである。本計画においても、地域活動・ボランティア活動は重要であると考え、質問する。

きむら まさとし 木村 正利

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



地域福祉計画と地域ボランティア

問 社会福祉協議会を通じたボランティア団体との連携は

答 社会福祉協議会を通じてボランティア団体の情報共有やニーズ把握を行い、活動支援につなげており、令和6年度はさざんか内ボランティア室にある活動周知のための掲示板を拡大設置した。また、社会福祉協議会からは年間をとおして様々な情報を提供いただいている。

問 「第31回全国花のまちづくり牧之原大会」におけるボランティア団体との連携は

答 牧之原市花の会、相良区女性クラブ、川崎地区および勝間田地区の絆グループなど多くのボランティア団体にご協力を頂いている。また、多くの方々からボランティアに協力するというアンケート結果を頂けた。大会に向けて花の植栽や道路清掃、会場展示や配布記念品の準備等をお願いする予定である。

問 地域ボランティア活動における見守り隊・交通ボランティアとの課題は

答 様々な事情から学校昇降口の開錠時間に変更が生じることがあるが、そういった際にはPTA組織を活用しながら、学校から保護者や各ボランティアの方々へ連絡等を行い、理解を求めている。



学校図書館担当者連絡会
(牧之原市ホームページから)

問 学校図書館司書におけるボランティアの活用は

答 各校で図書ボランティアをお願いし、図書館運営および生徒の読書活動の支援をしていただいている。今後もボランティアの募集が各校で行われるので、多くの方に協力いただきたい。

問 学校部活動における外部指導者制度への移行とボランティアの関係性は

答 学校部活動検討委員会において「休日の部活動を希望する教員と地域の指導者で指導できる体制を整える」という方針を固め、地域と連携を図りながら、学校から部活動をなくさないという方向で運営していく。なお、現在は8名の外部指導者に支援をいただいている。

牧之原市における様々な課題の中で、人口減少や少子高齢化は継続的な課題である。牧之原市に住み、子供を産み育てたいという意識を醸成するには、子ども・子育てに係る各種施策は最重要案件の一つであり、質問した。

ななみ かずあき 名波 和昌

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



第3期子ども子育て支援事業計画

問 第2期計画期間内に事業終了、上位の取り組みに移行した事業は

答 終了した事業は、全小中学校の大規模改修事業で、令和2年度に細江小、令和3年度に川崎小が完了し終了した。廃止した取り組みは「私立幼稚園運営費補助事業」「子育て相談会開催事業」である。

問 効果が特に高い事業は

答 こども医療費助成事業や不妊治療費助成金、子育て支援センター事業である。

問 子育て施策の課題は

答 実施している施策が市民に十分に伝わっていないことと考えている。また、子育て支援センター事業などの関連事業に従事する職員の確保も課題である。

問 市民アンケート結果を反映した主な施策は

答 公園については、大規模公園はないが「公園緑地管理事業」で計画的に整備を進めている。また経済支援として様々な支援策を実施しており、こども医療費制度は令和7年10月から入院時の食事代も助成対象とし、入院証明書類や差額ベッド代等の健康保険の対象外のものを除き、子どもにかかる医療費を完全無償化する予定。さらに子育て世帯の孤立を防ぐため、令和6年4月からこども家庭センターを設置。榛原総合病院では、常勤の小児科医の充足により、夜間・休日の診療を含む医療提供体制を整備していただいた。

問 幼保小中連携の方向性に対する見解は

答 年長児から小学校の接続期において円滑につなぐ必要性を認識し、特別な支援が必要である子どもの情報を小学校へ「サポートブック」として引き継いでいる。また年長児が小学校の生活を体験できる「一日体験入学」、小学校入学後に園の教員等が参観し、子供について協議を行う「保幼小連絡会」なども実施している。



パパママ子育て
だいいょうぶつく



第2期子ども・子育て
支援事業計画

一般質問

事務事業評価は、自治体が実施する様々な施策・事業について、その効果や効率を客観的に検証し、改善策を検討するための仕組みである。評価結果を「見える化」して公表すれば、行政の透明性や説明責任が高まり、市民との建設的な議論や住民参加を促進できる。静岡市・焼津市・菊川市などの自治体では評価結果の公表方法が参考になる事例を実施しており、実際に成果を上げている。一方、総務省の調査では牧之原市も事務事業評価に取り組んでいるとされるが、公式ウェブサイトには明確な評価結果や報告書の公表が見当たらず、市民に分かりやすい形で整理された資料がないように見える。こうした状況を踏まえ、当市も近隣市の事例を参考に、事務事業評価の結果を積極的に公表すべきではないか。

問 菊川市はPDCAを基に目標数値やプランを作成しており、素晴らしいと感じる。当市においても菊川市などを参考にしたい。だきたいが、いかがか

答 菊川市の事務事業評価は非常に分かりやすいという印象を持っている。菊川市に確認をしたところ、システムを導入し、この業務を行っているとのこと。職員の仕事量も含んだ費用対効果も考えながら導入に向けて検討を進めていきたい。



○その他の質問
・多目的体育館運営事業の目標について
・牧之原市役所職員の離職率について

事務事業評価の公開を



問 牧之原市は総務省資料にあるとおり事務事業評価を実施しているか

答 事務事業については、予算編成前の実施計画案の検討を通じて、取り組み内容の評価などを行い、実施計画書としてまとめている。施策についても、基本計画で施策単位の指標を設定し、実施計画で進捗を管理するとともに、見直しの際には、市民との意見交換や総合計画審議会を通じて計画の評価を行っている。

問 静岡市、焼津市、菊川市などの近隣市のように事務事業評価を公開してほしいが、いかがか

答 当市においては、実施計画や基本計画の見直しのプロセスの中で実施しており、他市のような公表用の資料を作成していない。公表することの必要性については、ご指摘のとおりであるので、公表している自治体の事例や課題等を確認した上で、事務事業評価の内容やプロセスの見直しとあわせて前向きに検討する。

野生鳥獣による農作物への被害が全国各地で広がり深刻化している。近年は山間地域や中山間地域に留まらず、都市部にも広がり人への危害も心配される。耕作放棄地や放棄果樹園等が増えることで、野生鳥獣の住処や潜み場となり、市街地への出没に大きな影響を及ぼしている。市内においても同様の傾向が見られるが、市ではどのような対策を講じているのか。

問 現在行っている対策とその効果は

答 猟友会と協力し、箱わなの設置を主な対策として実施している。農地所有者には電気柵等の設置費用の一部補助や、希望者には小型鳥獣捕獲用の箱わなの貸出しを行っている。箱わなによる捕獲は、前回の計画策定時捕獲実績の平均262頭に対して、令和5、6年度の平均は333頭となっており、効果が現れている。電器柵等の申請も年々増加傾向にある。

問 少ない人員でも専門家の知恵を借りればいろんな対策ができると思うが、無償の国や県の専門家派遣を活用したことは

答 これまで活用していないが、県が開催する鳥獣対策総合アドバイザー資格を職員が4名取得。これらの職員から適切な助言や必要な対策を検討し実施している。今後、必要な知識を有する職員を養成するとともに、必要に応じて国や県等の専門家派遣などの活用について検討していきたい。

問 ICTやAIを活用した新たな対策の検討や導入についての見解は

答 国の鳥獣被害防止総合対策交付金事業の中にICT等の新たな技術を活用した効率的な被害対策の推進などの取り組み事例などが示されている。これらの国の制度をうまく活用して、野生鳥

はまさき かずき
濱崎 一輝

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



野生鳥獣被害対策



野生鳥獣の住処になる耕作放棄地

鳥獣目撃報告ができる
市のLINE市民レポート



問 狩猟者への負担軽減やメンバーを増やす意味でも補助メニューを増やしていく必要性を感じるが

答 猟友会の会員から、高齢化による罾の定期巡回や設置場所の移動、捕獲頭数の増加によって埋却のための労力が大変といった意見を聞いている。国の補助制度等をうまく活用して、先進技術等の導入を行うことで猟友会の負担軽減等を図っていきたいと考えている。

獣被害対策の効率化や省力化を図ることができるよう、今後検討を進めていきたい。

一般質問

日本国内で生活する外国人が増加している。それに伴い、外国人の親に同伴する子供も増加し、学校教育においても多文化共生や日本語教育が大きな課題となっている。国や自治体には日本語教育を進める責務、企業には雇用する外国人に日本語学習の機会を提供するよう努める責務がある。本市における日本語指導が必要な児童生徒等への教育の支援と保護者支援について伺う。

かとう あきら
加藤 彰

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



外国人児童生徒等への教育支援



勉強の様子

問 本市「外国人児童生徒教育支援事業」は、今後どのように取り組んでいくのか

答 株式会社マキノハラボに日本語初期支援教室「いっぽ」の運営を業務委託している。本年度は定員15名を上限に、午前10時から午後3時まで、指導者2名体制で開室している。今後、通室希望のある外国人児童生徒の状況により、定員枠の増加についても検討していく。

問 外国人保護者が文化の違いを克服するために、どのような取り組みが必要と認識しているのか

答 例えば、外国籍児童生徒が多く在籍する学校では、配布物やメールなどについてポルトガル語や英語に訳したものを添付したり、やさしい日本語で書いた文書にして配布したりするなど、確実に情報提供がされるように努めている。あわせて相良小、菅山小、地頭方小、川崎小、細江小、相良中、榛原中には計3名のバイリンガル相談員を配置し、学校と家庭との連携を強化している。また、母語を持たない子が課題になっている。日本の公立学校では、その支援に関して手が回っていないというところが現状である。

問 日本語初期支援教室「いっぽ」へ通室している外国人児童生徒が、義務教育に入ってから障がい疑いがあると判断されるのではなく、「いっぽ」で生活している環境の中で、その疑いを判断されたり把握していくことが大事ではないか

答 現在、市内の小中学校では特別教育推進事業というもので、巡回相談員による巡回訪問というものを行っている。「いっぽ」に通うお子さんも、市内の小中学校に編入を希望している家庭のお子さんでもあるので、編入前に支援をするということも子どもへの有効な手だてではないかと考えている。



教室修了後は
市内公立学校へ編入学

南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるが、複合災害に効果的な対策が進んでいるとは思われない。地域の強靱化対策を見直す必要を感じつつ、気候変動により多発する豪雨災害を中心に、まちづくりについて質問する。

おおishi かずお
大石 和央

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



河川整備計画策定が先ではないか

問 市内の2級河川流域の洪水対策について、令和に入り災害が多発しており、早急に抜本的な河川整備が必要ではないか

答 国では流域治水として、流域全体で水災害対策を行う方針である。県及び市においても行政だけでなく、流域に関わるあらゆる関係者との協働により水災害対策を推進する。

問 勝間田川流域の河川整備計画の見直しを急ぐべきではないか

答 現在の河川整備計画は、過去の一時間最大雨量、総雨量最大を検討して作成されている。

問 過去総雨量最大は598ミリ、最大時間雨量は87ミリで洪水浸水想定最大規模に近い。これを基準に整備する必要があるのでないか

答 雨の降り方が相当変わってきていることを踏まえて、河川整備計画を今後見直すことは重要だと思っているので県に要請していきたい。

問 榛原地区の義務教育学、校建設は浸水域にあり、防災や危機管理面から妥当ではないか

答 新校舎は千年に一度の大雨にも対応する高さでの整備と市の備蓄倉庫を備えるなど安全に配慮し、防災や危機管理面から妥当である。

問 被害最大想定対策としての河川整備が先ではないのか

答 現在、仁田地区の浸水状況について調査を行っている。これに基づいて対策を取っていききたい。



2022年9月台風15号で床上浸水被害

○その他の質問
・リニア中央新幹線建設に伴うJRR東海の説明会について

市民から生の声を聞く！

- ・制服が自由に選べる。
- ・自分のやりたいことや夢が実現できる環境。

参加者からの意見

【意見交換のテーマ】
●楽しい学校ってどんな学校？

文教厚生委員会
×
中学校（相良・榛原）
生徒会本部役員および
専門委員会委員長

文教厚生委員会では、所管事務調査事項を「子どもの未来をつくるための環境整備について」と定めて調査・研究を行っています。

当市の宝である子どもたちの未来を応援することが大切であり、子どもの権利や学びの多様化について、意見をお伺いするため市内各校の中学校生徒、PTA会長および校長先生と意見交換を実施しました。



相良中での意見交換の様子



榛原中での意見交換の様子

- ・エアコン設備の完備。
- ・他校や他学年、世代や場所を超えた交流。
- ・文化祭や体育祭など、イベント行事の充実。
- ・校則の見直し（髪型・服装についてなど）。

【意見交換のテーマ】
●不登校に関する現状と課題について

文教厚生委員会
×
校長先生

- ・当事者の子ども、保護者、他人誰でも相談できる第三者機関のようなものが欲しい。
- ・いじめによる不登校から、生徒個人の理由による不登校が増えてきている。
- ・保護者の不安を取り除くことも重要。

【意見交換のテーマ】
●保護者から見た不登校の現状と求める不登校支援について

文教厚生委員会
×
PTA会長

- ・保護者の考えや思いが以前とは変化している。
- ・原因としては※起立性調節障害や生活リズムの不規則化が多い。

参加者からの意見

【不登校に関する現状と課題について】

- ・子どもたちが選択できる学びの多様化教育をどう考えるか
- ・静岡県が進めるメタバースによる授業参加は良い取り組みである。
- ・支援員や学習支援サポーターが必要。

※起立性調節障害
用語解説

※起立性調節障害
思春期前後の小児に多くみられ、血圧や心拍数の調節が上手くはたらかず、起立時にめまい、動悸、失神などが起きる自律神経の機能失調。

視察研修報告

1月20日 岐阜県 高山市 高校生との意見交換会について
予算決算特別委員会について
市民意見交換会について

1月21日 岐阜県 可児市 キャリア教育支援の取り組みについて（高校生議会等）
市民意見交換会（議会報告会）について

議会運営委員会
構成委員



高山市議会では、住民参加による議会機能の強化を目的に、さまざまな取り組みを行っています。地域別意見交換会を市内21地域（小学校区）で年1回開催し、地域担当が課題や意見を聴取します。分野別意見交換会や高校生との意見交換会も実施しており、高校では研究成果の発表や意見交換を行っています。また、令和4年度からは高校側の負担を考慮し、アウトリーチ型に変更しています。さらに、令和6年10月からは「Web版市民意見交換会」として、QRコードからオンライン上で意見を提出できる仕組みも導入しています。

予算審議については、予算決算審査委員会を全議員で構成し、一問一答方式で制限なく慎重に審査をしています。

※マニフェスト大賞
地方自治体の議会、首長、市民等による、地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを募集し、表彰するもの。

用語解説

可児市議会では、可児高等学校が取り組む「地域課題解決型キャリア教育（エンリッチプロジェクト）」を支援する取り組みが行われています。このキャリア教育は、若い世代と地域で活動する大人が関わる取り組みを通じ、若い世代が可児市の魅力を知り、地域への愛着や当事者意識の醸成、広い視野、新しい経験の獲得といった効果を目的としたものです。この取り組みが評価され、可児市議会は第10回※マニフェスト（議会）大賞を受賞しています。

また、高校生議会や子育て世代との意見交換会、ママさん議会などを積極的に開催しています。当市議会でも、こうした幅広い世代の方の意見を政策に反映させる仕組みを取り入れる必要性を感じました。

高山市、可児市の両市議会では、若い世代の考えを政策に反映するなど先進的な取り組みを実践しています。本市議会においても、民意の反映についてどのような仕組みをつくっていくのかなどの検討の際に参考とさせていただきたいと思っています。

（議会運営委員長 加藤 彰）



可児市での研修の様子



高山市での研修の様子

坂部小学校の皆様が議場見学しました!

令和7年2月3日に坂部小学校6年生の生徒たちが議場見学に訪れました。

これは社会科授業で地方自治について学んでいることから、議場見学を通じ、学習の理解を深めるために行われたものです。

生徒たちは当日、市議会についての説明を受けた後、実際の議場の席



に座り、簡単な議会の体験も行いました。

また、後日子どもたちからお礼のメッセージを頂きました。頂いたメッセージは議員控室に大切に飾らせていただきました。

今回の経験を通して、子どもたちに市議会について興味を持ってもらえたらうれしいです。



議会報告会を開催中!

5月12日の勝間田会館を皮切りに、13日に萩間コミュニティセンターでも開催し、令和7年度議会報告会をスタートいたしました。

議会報告会とは、市政の諸課題に柔軟に対処するため、市政全般にわたって、議員と市民の皆様とが自由に情報および意見を交換するものであり、どなたでもお越しいただくことができます。

この機会にぜひ、議員と直接意見交換をしてみませんか。

○開催日程

- ・ 5月12日(月) 済
勝間田会館
- ・ 5月13日(火) 済
萩間コミュニティセンター
- ・ 5月19日(月)
細江コミュニティセンター
- ・ 5月29日(木)
サーボ

○開催時間

19時～20時30分

議会を傍聴してみませんか

6月定例会の日程

- 6月2日(月) 提案説明
- 12日(木) 通告質疑
- 17日(火) } 一般質問
- 18日(水) } ※13日は一般質問者数が
- 19日(木) } 13人以上の場合
- 27日(金) 審議・採決

※補正予算連合審査会 6月20日(金)

もっと市議会を知ろう!

傍聴する

市議会で行われている会議は全て公開です。



録画配信を見る

一般質問はいつでもご覧いただけます。

牧之原市 議会中継

検索

← クリック

ホームページで
本会議や委員会の
会議録を見ることが
できます。



今号の表紙

相良中学校

【 地域の方と中学生とで花を植えよう 】

相良中グラウンド横の通学路沿いに放置花壇があり、それを見た相中CSDの発案で「地域の方と中学生とで花を植えよう」と実現した活動です。ここを通る小中学生、地域の方々、すべての人が笑顔になり、幸せの花が広がったうれしいです。

編集後記

毎号の編集を通して、まちの動きや議会の様子をどう伝えたらよいか、悩みながらも楽しく取り組んできました。原稿作成を続ける中で得た気づきがたくさんあります。読者の皆様に議会を少しでも身近に感じていただけたなら幸いです。これからも議会だより『かけはし』をどうぞよろしく願っています。

(石山)

議会広報特別委員会
委員長 種茂
副委員長 和男
委員 絹村 智昭
松下定弘
木村 正利
谷口 恵世
石山 和生

牧之原市議会定例会(一般質問等)については、ホームページに掲載されています。

「牧之原市議会だより」は再生紙を使用しています。